
RODOR

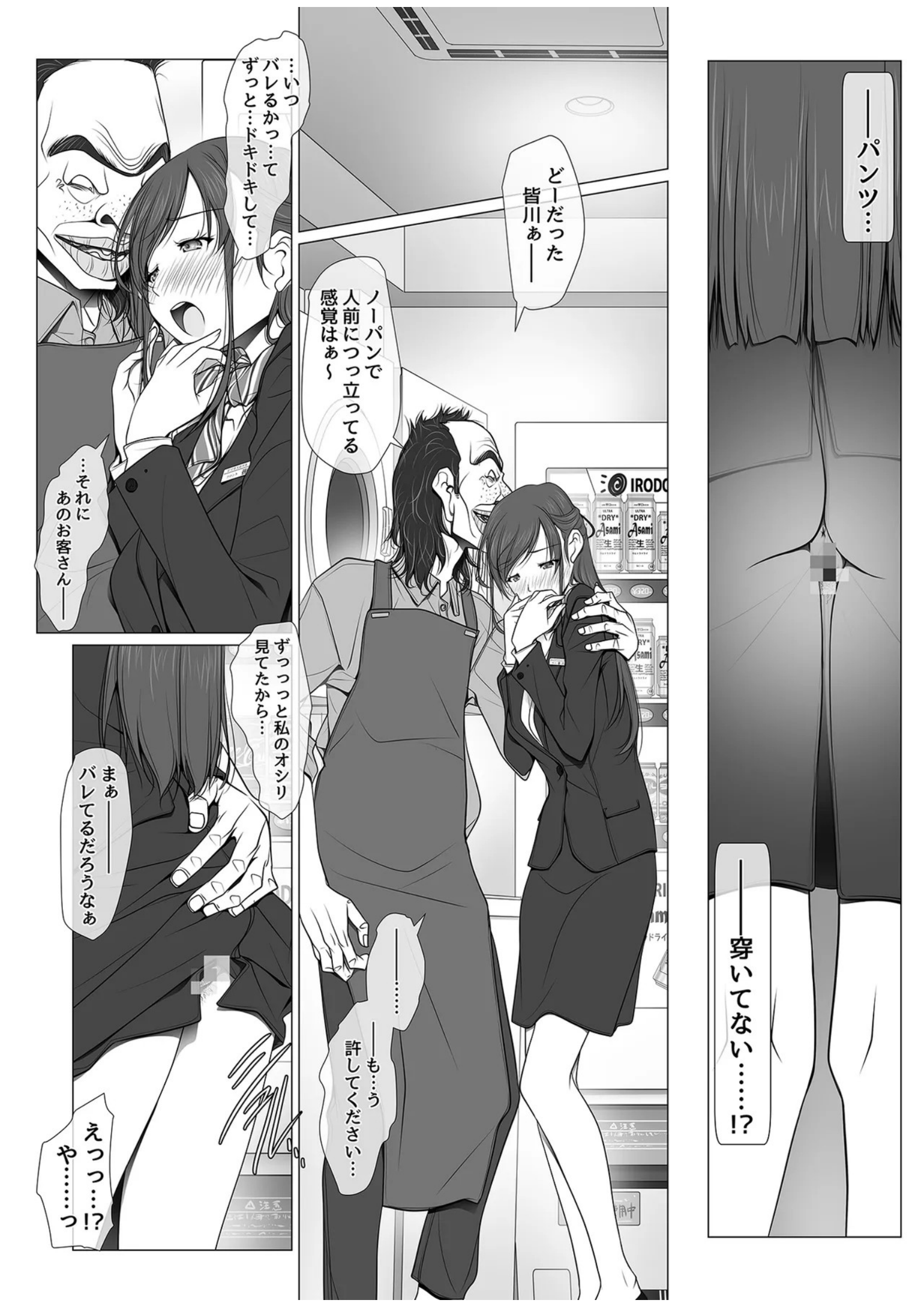

彼女がパンツを穿かない理由
ビジホ受付嬢編
―中編―


避難経路図
EMERGENCY ESCAPE
Don't
Clean Up
This Room
23 : 51


——夕方——
HOTEL
KOCHER
-since1985-
FRONT
-since 1985-


Coca-Cola
カタッ カタッ
カタッ
ちらっ
FRONT
HOTEL KOCHI
へへ…
イイ眺め～
カタッ カタッ
ちらっ
おっっ


ごゆっくり
お過ごしくださいませ
へへっ
あの子のも
イイ尻してんなぁ
――!?
おっ…
おおおお……!?
……
――もしかして…
ガタッ


――パンツ…
――穿いてない……!?
どーだった 皆川ぁ――
ノーパンで 人前につっ立ってる 感覚はぁ～
……いつ バレるかっ…て ずっと…ドキドキして…
…それに あのお客さん――
ずっっっと私のオシリ 見てたから…
まぁ――― バレてるだろうなぁ
――……
――も…う 許してください…
えっっ…!? や……っ


——あの客よぉ
うちの受付嬢の連中を
オッパイからオシリから脚まで
舐め回すように見てたからなぁ
ところんっ
今晩のオカズにされること
間違いねーなw
そ…んな…
へへぇ——
頑張った
ご褒美だぁ〜
あっ…
えっっ!?
ここで……!?
やっっ…
ダメッッ
絶っ対
バレちゃうからっっ
ULTRA
DRY
Asami
生
ウルトラドライ
¥320-


IRODORI
キャッッ!!
IRODORI DRINK
うるせぇっ
俺は
今すぐここで
ハメてぇんだよぉ
で…もだって…
DRINK
つめた〜い
つめた〜い
なんだよぉ
入れて
ほしくねーのかよ
LED使用中
キャツツ
やっ……
――っ
あっ……
あっっ……
へっっ
へぇっ
皆川のオマンコォ
もうこんなに
グッッチョグチョ
なのにぃ〜？w
や……
んっっ…
――っっ……!!


ダ…メッ
――ッ……
やあぁっっ
――……
はあぁぁ…
んん――っっ…
映っちゃ…うっ…
監…視カメラに…
へへっ
心配すんなぁ


監視カメラのスイッチをよぉ
さっき俺が切ってきたw
——だからぁあ
どこでもハメ放題だぁぁw
そ…んなぁ…
ダッツ…メエッツ…
はっっあぁぁんっっ…
あっっぁぁんっっ
あ…はっっんんっっ…
あんっっあぁぁんっっ
あっっ…アアアンッツ
アンッツ…アアアッツ
IRODORI DRINK
Asami
やっぱ〜お茶


あっつ…
アッツ
アンッ…
アアァンッツ
アァッ…ンッツ
ヤッツ…
アアア…
ヤッ…
アッ…アッ…
アッツ……
イッツ…
…クウ…
イッツ……
キャヤッツツ
——ツツ……
…え……


ん？
どーした？w
え……
ウ…ソ……
や……
――……
なんか
残念そうに見えるなぁ
皆川ぁ――
へへっ
そりゃ急にチンポ
入れたくなったら――
突然もういいやって
なることもあるわな――w
なんだぁ――？
ご不満かぁ？w
――いえ……
――なんでも……
ないです……
――そこから
皆川は――


常にノーパンでいる状態での背徳感と――
こうした深夜の見回りの様な一人になる時間は
!?
不意をつかれ…
俺と遭遇し――
――所構わず
……
チンポを入れられてしまうといった恐怖感と――
その反面入れられた時に――
急にまた入れたくなってよぉ――
俺仕様となったオマンコがどうしようもなく感じてしまう屈辱感に――
ゆっ…
次はイカしてくれるかの期待感が交錯して――
ひっ――…
皆川のオマンコは――
ゴソゴソ
ビキッ


イヤッツ
ダ…メッ
ヤッツ…
こんなとこでっ…
へへっ
一度エレベーターで
ハメてみたかったんだよなぁ～
やっ…
見…られちゃう…
常にマン汁が溢れ続けて――
よ――しっ
言いつけどおり
パンツも穿いてねーな
キャッツ!!
オマンコも
グッチョグチョだし――
どうしようもない
エロマンコだなぁ
皆川ぁ～
やっつ……
あっ…
あっ……
あああぁっ……


あっっ
あああっ
あっっ
あっっ…
ンンッッ
ンアッッ…
へへっ
こんな所でセックスして
興奮してんのかぁ――
スゲー締まってんぞ――w
ハアッッ
アアァンッ
あっ…んんっっ
アッッ…
や…
そ…んなこと…
アアァンッ
あああっっ


へへっ
下の階から呼び出し喰らってるなぁ——
ヤアッ…アッツ
はっ…早…く済ましてっ……
アッツアッ
アッ…ンツツアアンツツ
アッツアアアッ
ハアアツツ
アアア…アンツツ
アッツ…アアアツツ
アアツツアアアツツ——…
ンアツツ——
アッ…——イツツ——
——クウ……
アア…ツツ


あー
気持ちよかった——
アッツ…
アァアッ……
アァア……
下の階で
待ってる人に
よろしく言っといて——w
やぁ……
ま…
たぁ……
アッツ
ハァッ…
アンッツ
アァンッ
801


アアァッ
アアァンッッ
アアァッッ
皆川ぁぁ
ここだと
誰にも見られねーし
大声出しても
バレねーからよぉー
アッッ
感じまくっても
イイぞ――
……
アアァッ
アンンッッ
アアァッ
アンンッッ
アッッ
アァッッ
アッッ
アァンッッ
アッッ
アンッッ
アアァンッッ
アッッ…
ヤアンッッ…
アアァッ
アアァンッッ
アアァッッ


あぁそうそう
皆川ぁぁ
今入れまくってる
チンポよぉ
実はもう一週間
風呂に入ってなくてなぁ
アッツ
アアァッツ
アンッ
アァアンッツ
なんか変な病気になって
オマンコがかぶれても
嫌だからよぉ
い…やぁ…
アアアッツ
——とりあえず
アッツ
ヤッツ…ン
一回
膣の中
キレイにしとくわw
キャアア
アアッツ


イヤッツ…
な…に
コ…レェッ…
ヤアアアツツ
抜いてえええっっ
物足りねぇからぁ
あ～？
なになにぃ～？
もっと
水圧上げろってえぇ？
ヤッツ
違っっ…アッアッ
キャアアア
アアツツ
アアアア


へへっ
ちょ～っと
刺激強すぎたかもなぁ～
さすがに
あいつにも
シャワー突っ込まれたこと
ないだろうしなぁw
あ…
あぁぁァァ……
アァァッ…
ビクッ
ビクビクッ
ビクッビクッ
ビクビクビクッ
アッツ…
アァァァァアッツ……
ア……アァ……
アァァンンッツ……
イヤッツ…
ぐいっ
イッツ…
アッツ…アッ
プシャァァァ
ヘヘッ
先に出てるぞ――
イキたかったら
ベッドに来な――
ガチャ…
イッツ…クゥ…
――――…
ビクビクビクビクッ


ハァ…
ハァ……
ハァ…
2回も
イキ損ねたんだもんなぁ～
ホレッ
ホレッ
ポトッ
ハァ……
ハァ……ンンッ
へへッ…
そうか
イキたいか――w
ドキ!
ドキ!
ハァ…
ハァ…
ハァ……


入れてほしけりゃ
自分で入れなぁ～
こっちに
ケツ向けてぇ
思いっきり
マンコ広げてぇぇ――
私のオマンコに
入れさせてくださいって
言え――w
……
ポト…
ポト…
ドキ…
ドキ…
ドキ…
ドキ…
ドキ…
ドキ…
ドキ…
――……
ヘヘッ――


へっへぇ――
ハァ…
ハァッッ……
ハァ…ンンッ…
いい――眺めだぜ
皆川ぁぁぁ
お前のぉ
イヤラシイ所が
丸見えだぁぁ――
……


ドキ…
……
ドキ…
……
わ…
ドキ…
わ…たしの
アヤ…
オ……
マン…コに
……入れさせて
ビクッ
く…だぁ……い……
アアアア…
ヌウ…
アッ……
アアア……
へっへへ…
ビクッ
そうこなくっちゃ――っ!!
ズッ
00:48


アアアアンッッ
アアアンッッ
ハアッッ
アアアンッッ
アンッッ
アンッッ
アアアンッッ
アンッ
アアアンッッ
イ…インッッ…
ンアッッ…
アンッ
アンッッ
ヘヘッ——
アアンッッ
イイこと
思いついたぁあ


キャアッツ
やっっ…
ナニ……!?
アッツ
アアッ
エッ…
イヤア…
アッツッツ
ハッツ
アアアッツ
そっ…ち…は——
へっへ——
アンッ
アアンッ
ホレッ
ホレッ♪
ヤッツ
絶っっ対
ダメエッツ
アッツ
ンッツ…
みっ…
見られちゃうからっ
アアアッツ
アアアンッ…
お願いっっ…
下がってっっ


キャアーッ!!
イヤッツツ
アアァツツ
オホッツ
アアアツツ
ヤアアツツ
アアアンツツ
締まる締まるw
皆川のエロいハダカも
外から丸見えーw
アッツ
アアァアツツ
オオッ
ウチの客だぁぁ
こっち見てねーかぁ?w
アッツ
イヤアァァ……


へへッ
特にこの時間の客なんてっ
アッツ…
アッツ
AV見ながら
オナニーしてっからっ
カーテン閉めてるだろうからよぉ
アアァンッツ
ハッツ
アアァァッ
余計
目立つんじゃねーかぁ？w
オラァッ
目ぇ開けてぇ——
現実を
受け止めてよぉぉ
アッツ
アアァンッツ
イヤッ…
イヤァァ…
みんなに
イクところを——
見てもらえぇぇ——っ
アッアッアッツ…
ヤッツ——
アァ……
キャアアッツ
アアァッツ——…
ア…
イッツ——…
——ッツ


ヤァア…
ンッッ…
アァアッッ…
ま…たぁ……
ア…
アアあぁぁぁ……
あ…あぁ…
ヘヘッ
ホントにイカせてくれると
思ったのかよーw
見られ損だったなぁ——
皆川ぁぁ——
も……う
イヤァ……
ヘへっ
ま〜た
あとでな——


アッッ
アッアッ…
早…く
終わらせ…てっ
アッアッ…
人…が来ちゃ…うぅっ
へへっ
どーよ皆川ぁー
受付嬢の仕事
してっから――
アッ
アアアッ
アンッ
アッンッッ…
フロントで
セックスされるなんてよー
最っ高の
おもてなしだろぉーw
アアアンッッ


アアアンッッ
ヘヘェッ
イイのかよぉぉ
そんな大きい喘ぎ声
出しちまうとぉ——
客たちがみんな
起きちまうぞぉぉ
ハァアアンッッ
——……
アアンッッ
——だっっ……てっ…
アンアンッッ
気い……持ち…
アアアッッ
イ…イ……
から……ぁぁ…
アアアッッ…


この淫乱女がw
ヤッアアッァッ
アッッ
アッッ
アンッアンッ
アアアンッ
ヤッッ
ス…ゴ…
アッ…アッッ…
アハアア
アァッッ
アァアアッッ——
——イッッ
——ク…
イッッ
——イッッ……ク……


ヤアッアッ……
ビクッ
ズボォォォッ
……
アッ…アアッ…
ビ…クッ
ビク…
ハアッ…
……
!?
も…う
イ…イ加減…に
ドキ…
ドキ…
ハアアッッ……
も…う少し…で
だった…のに…
イ……カせ…て…


へへっ――
イカせてだってよぉぉ――
こっっのぉぉ――
まさか憧れの皆川の口からぁ――
ああぁんっっ
そんなこと聞けるとはなぁ――w
堕ちたもんだなぁ――w
きゃあああぁぁっっ
ド淫乱受付嬢があああっっ
おっ…願いっっっ…
は…早くイ…カせ…て…
イカせ…て――ッッ……


ツックッ……
ビクッ
ビクッ
ビクッ
……!?
イヤッツ…
イヤアッツ……
イッツ…ッ…ク――
ポタ…
ポタ…
へへっ
も～今日は
疲れたぁ
ビッ…
アアァァア…
皆川がイけるのは
また明日だなぁ～w
…明日……
それに
そろそろ防犯カメラの
電源入れ直し
しておかねーとw
ドキ…
ドキ…
……でもぉ…
夕方まで
仕事なんだろ～
この状態で
大変だなぁ～w
――……
皆川


FRONT
チェックアウトですね
ありがとうございました
またのお越しをお待ちしております——
ドキ…
ドキ…
ドキ…
ドキ…
……


ドキ…
クチュ…
ドキ…
アッッ…
ビッ
ハァ…
ハァ……
ビッ
ビッ
ビッ
ビッ
アッ……
アァッ……
ハァ……
ンッッ…
ンアッッッ…
アッッ…
ア…ンッ……


Women's Locker Room
あ……
すごい濡れちゃってる…
少しイジってただけなのに…
――私…本当に淫乱になっちゃったのかな…
結局一度もイカなかったからかな…


——そういえば
——もしかして…私——
ドキ…
ドキ!!
あれから
清掃員さんに
会えていない…
気がつけば
近くにいて
迫ってきてたのに…
——あ……
期待しちゃってる——


ドキ…
ドキ…
――……
ドキ…
ん……
ドキ…
ドキ…
んぁ…
んんっ……
ピンポン
あ…
――直樹…


今晩また部屋を借り切って
セックスしない？
満足させてやるからさ
……
満足させてやる……って……
どうしよう…


スルッ
スッ
スルッ…
大丈夫……かな……
ドキ…
――……
ドキ…


ん…んん……
んはぁ……
HOTEL CHER
801
んふぅ…
んんっ……
あっ…
んはぁぁ…
あっっ…
あ…あぁん…


はぁ…
はぁ…んんっっ
あっっ…
あ…んっ…
あっ……
んん…
んふぅっっ
フロント 小林
——あれ？
お前——
パンツどうしたんだよ
あ……
さっきトイレで
失敗しちゃって…
だから…

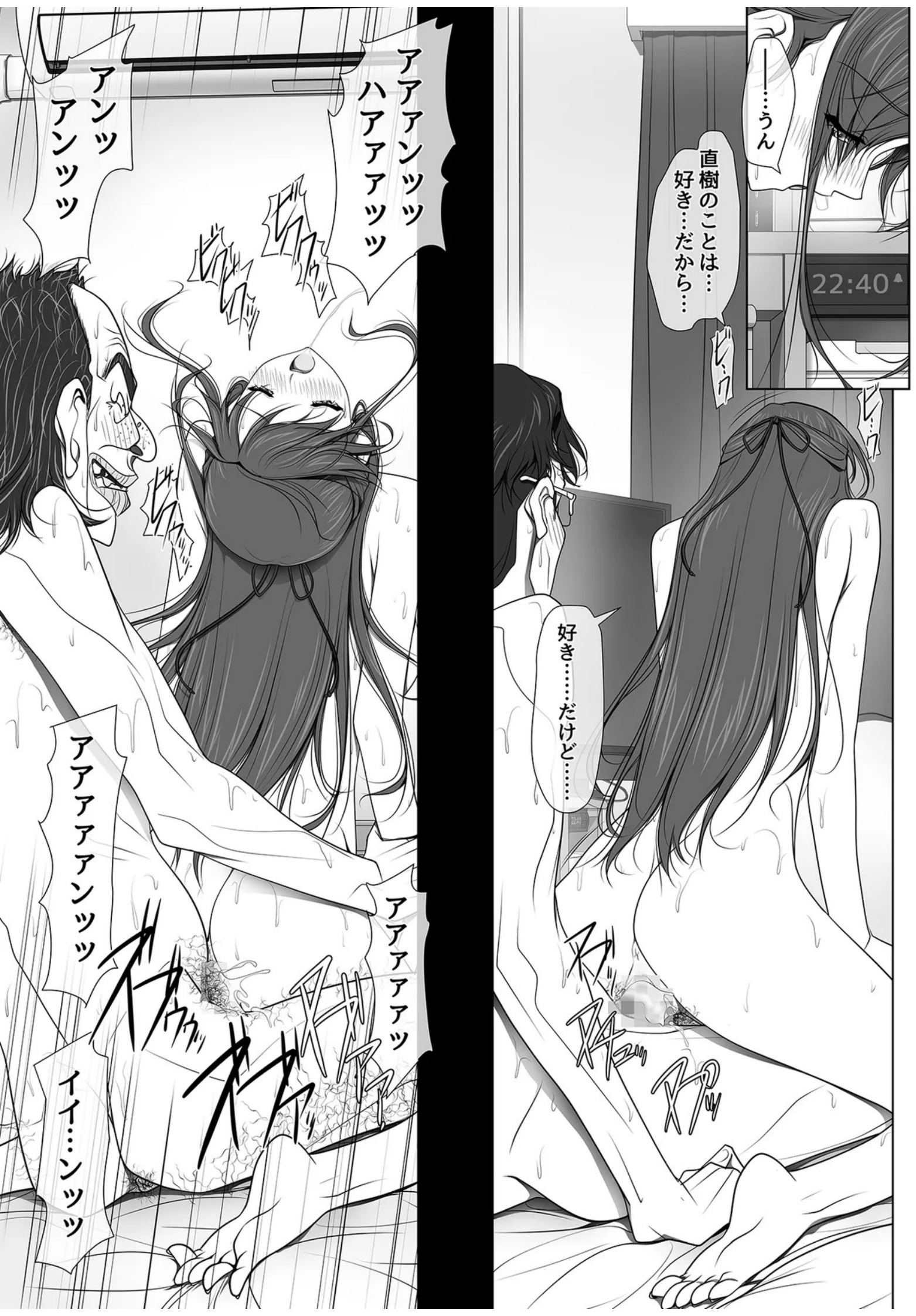

んっ…
んふっ……
はっっ…
あっ……
はっっ…
あああぁ……
あっっ…
あああ…
ん……
お前――
まさかと思うけど
他の男と
ヤッてないよなー
――え…
どうして……？


気のせいか――
いつも積極的に俺を激しく求めて――
あっっあっっ
感じまくって大声で喘ぎまくってたくせに
なんか――こう…
俺以外に満足できる男でもいるんじゃねーの？
あんっっ
あっっあぁぁっ…
事務処理みたいに
淡々とこなしてるとゆーか


22:36
もっと突いて——っ
もっとイッパイ揉んで——っとも言わねーしな
あっっあぁぁんっっ
あっあっっ…
やっぱり俺…仕様——なのかな…
ん？なんか言ったか——？
——ううんなんでもない…
でも——仮にいたらどうするつもりなの…？
え…


あなたに奥さんがいるように――
私にもいちゃいけないってことはないよね…
ま…まぁそうだけど
くそっセフレでもできたのかよ――
――…
あっあっっ
あっっあんっっ
あっっアァッ…
――いるんだな


――にしても…
お前が上に乗るのは珍しいな
――こ…うでもしないと…
ビク
ビク
アッツ
そうかセフレくんはマグロちゃんなんだな
少…しでも奥に…い
あっっンッツ
そうじゃないと……
ダ…メかも…
!?――よくわかんねーけど
アンッツ
――でもよ俺たちのセックスの相性バッチシだからよ
セフレいたとしてもよ
今後も不倫関係続けてくれるよなぁ皆川――
ああっっアアンッ
――……
ビク


22:40
――…うん
直樹のことは…
好き…だから…
ビク
ビク…
好き……だけど……
アッ
アッ
アッ
アッ
アアアンッッ
ハアアッッ
アンッ
アンッッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
アアアアッ
アアアアンッッ
オウッ
オウッ
アッ
アッ
イイ…ンッッ


アンッッ
アアアンッッ
ぜっ…
全然…違っっ
アアァッう…
子…アッッ宮ぅぅ
やァァ…ぶれちゃ…ぅぅ
ハアァンッッ
ま〜た懲りずに
小林と
ハメてきたのかよ——!!
アアアアッッ
アッアアッアッッ
ホンッット淫乱受付嬢に
なり下がりやがったなぁ——
皆川ぁ
だけどよぉー
イイ…ンッッ…
アアァンッ
これで
わかったろぉ〜
アンッッ
アアアンッッ


キャッツ
アッツ
アアアッツ
皆川あの
オマンコはぁあっ
ヤッツ…
アッツ…
俺仕様っだって
よぉ――!!
キャアアア
ア――ッツ!!
アアアアアッツツ
ア…ンッツ
へヘッ
ア…
アアアア…
そ…れイツ…
もっ…っとぉお
思…いっきり…
イ…カせ…てぇ…
アンッツ
ま～だだぁ～


アアンッッ
も～でも
も～すぐだぁ
アアッッ…
アッ…
も～すぐしたらぁ――
アッハアア
アアッッ
思いっきり
イカせてやるよぉ～
しかも
より刺激的でぇえ
ホ…ホント…に……
アアアア
アンッッ
精神的にも
体感的にもぉお
アッアッッ
気が狂いそうになるぐらいいい――


イキまくることおぉお!!
アアアアア…
ビクビクッ
ビクビクッ
間違いねぇーことをよぉ——!!
オウウ
アッアッッ…シンッ
へへっ
さて…と
アッッ…
プルルルル
プルルルル
ガチャ
はい
フロントです
ビクッ…
ビクッ
カカヤ…
え……!?

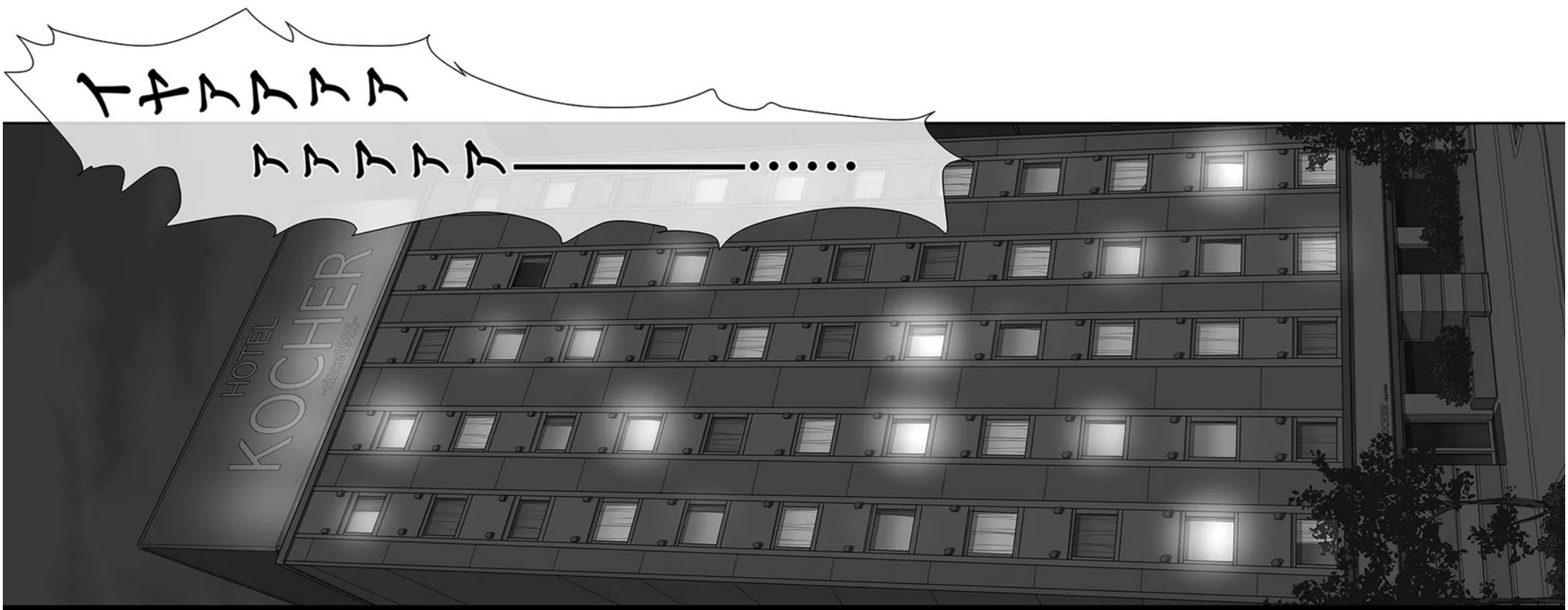

テレビの調子が悪くてですねー
見てもらえます――？
――はい
――はい
あっ
ロックは外してあるので
そのまま入っていただいて――
――はい
お願いします――
ああっ一応
お名前も伺って
よろしいですかね？
やっ……
ああっ
小林さんねー
はい
小林と申します
行動予定
10月2日
やっっあっ……
はいはい――
早く見たいんで
急いでくださいねー


はい
じゃ
お待ちしてます——
ダメッッ
ア…ンッ
ヤ…ンッ
アアッッ…
イヤアッッ
——ッッ!!
おーい皆川ぁぁ
どこ行くつもりだよぉぉ
お前が思いっきり
イカせてぇ——!!
ってお願いされたから——
アッ
アッッ…
…ヤッアッッ…
こっちは
それに答えて
やっただけだろーがぁ——

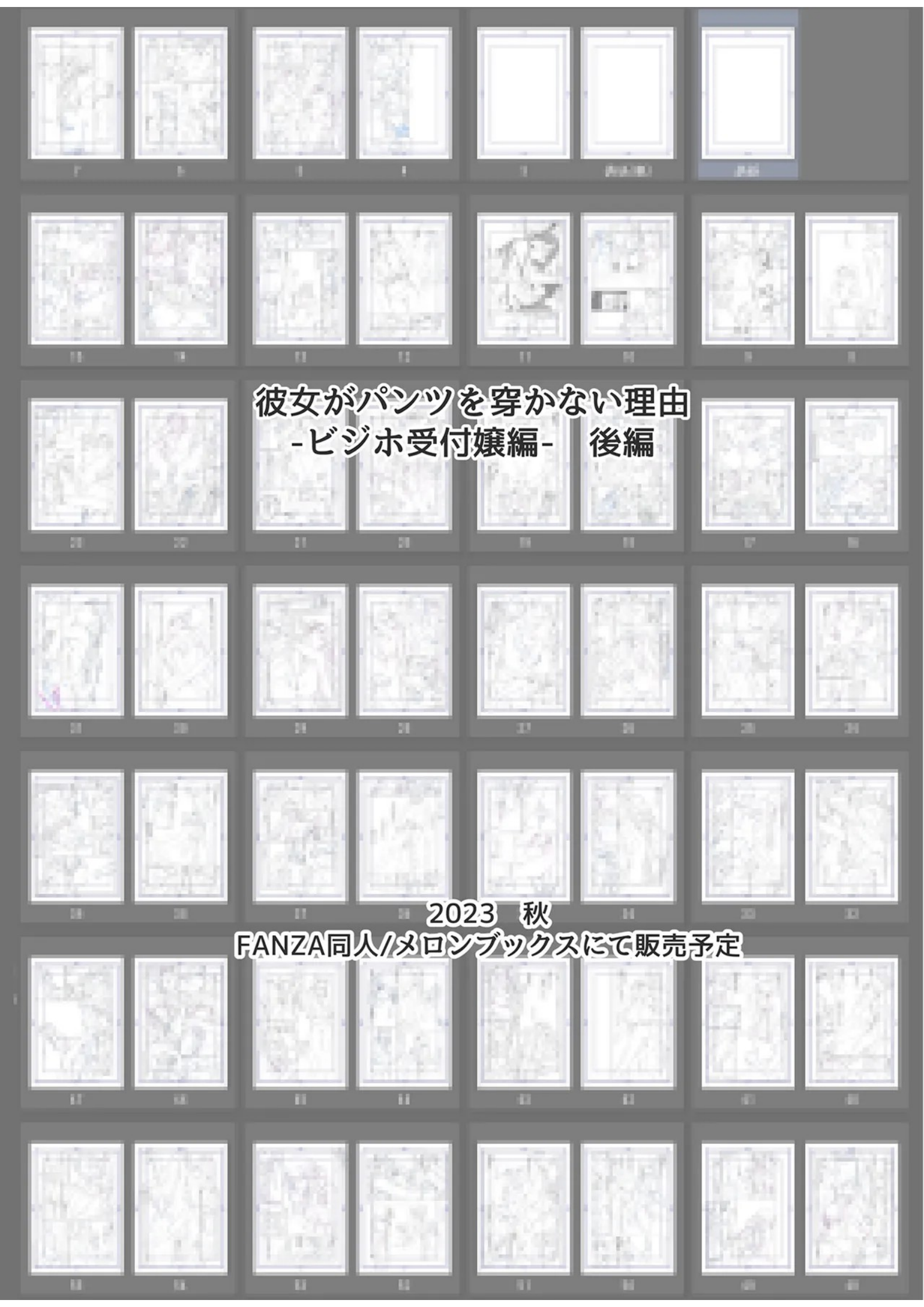

イヤッッ!!
ご…んなの…違っっ…う
ハアア…シッ
ギュウッッ
もう逃げても誰も得しねーっつーの
アッッアアァッンッ


ビクッ
――でっっも…
クイッッ
スクッッ
へへッッ…
もうあきらめなぁーっっ
ヌオオウウッッ
皆川穂乃花ぁぁ――っ


イヤアアアアアア――ッッ
ギギ……
801
コンコンッ
!?
しっ…
失礼します――
ガチャ
――っっ!!



後編へ続く


彼女がパンツを穿かない理由
-ビジホ受付嬢編-　後編
2023　秋
FANZA同人/メロンブックスにて販売予定

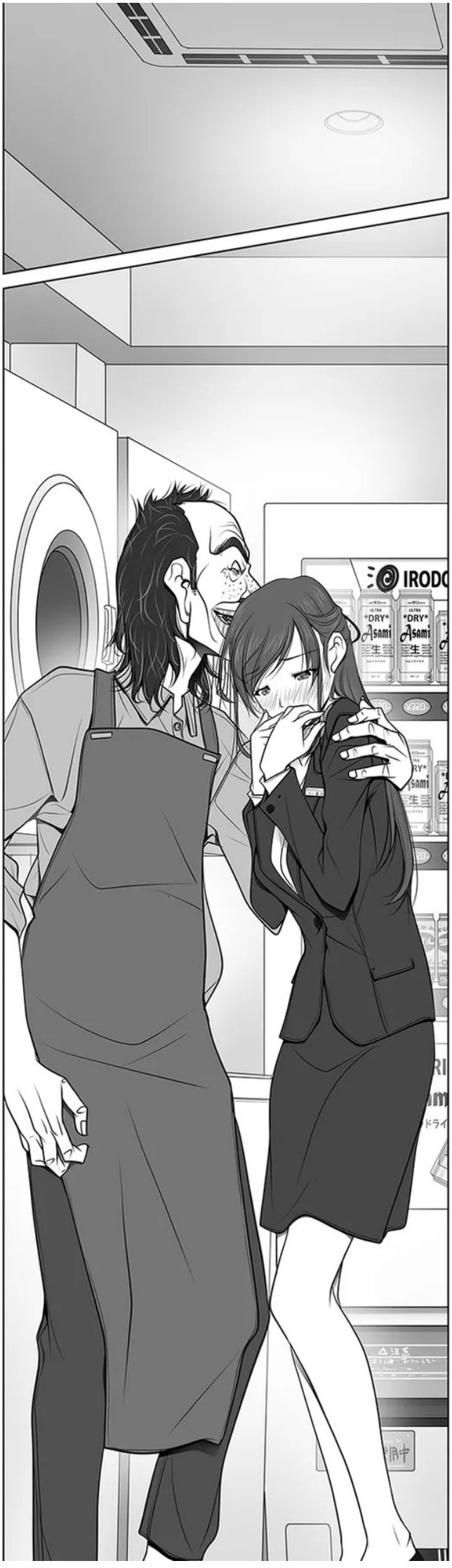

23 : 51

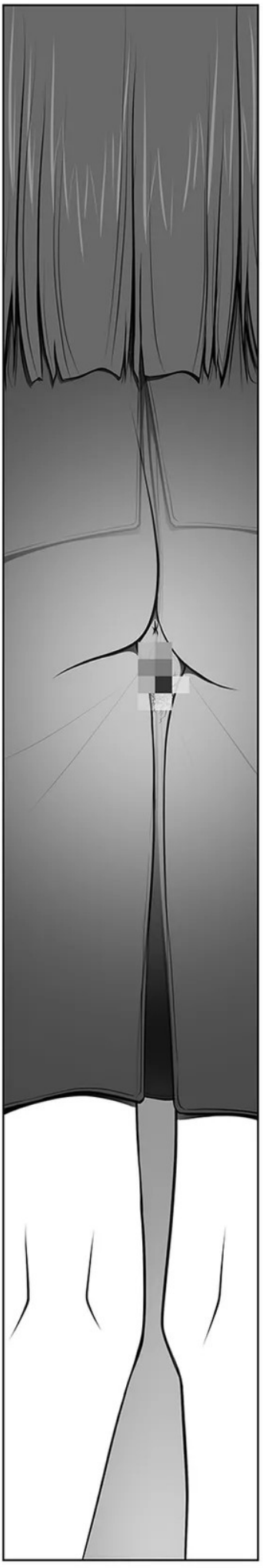

FRONT
HOTEL
KOCHER
-since1985-


Coca-Cola
FRONT
HOTEL KOCH
山野






IRODO
ULTRA
"DRY"
Asami
生






ULTRA
DRY
Asami
生
ウルトラドライ
¥320-
¥130-
あたたかーい
つめたーい


IRODORI DRINK
IRODORI
MEDY COFFEE
BASS
LED使用中


IRODOR
Asahi
DRY
生
LED使用中


IRODORI DRINK
Asami
生
IRODORI DRINK
やっぱ～
お茶


IRODORI DRINK
ULTRA
DRY
Asami
生






10
9
8
7
6
5
4
3
2
1






801












Don't Disturb
Clean Up
This Room
Hotel
KOCHER


00:47


00:48








Don't
Clean Up
This Room
Hotel
KOCHER




FRON
TEL

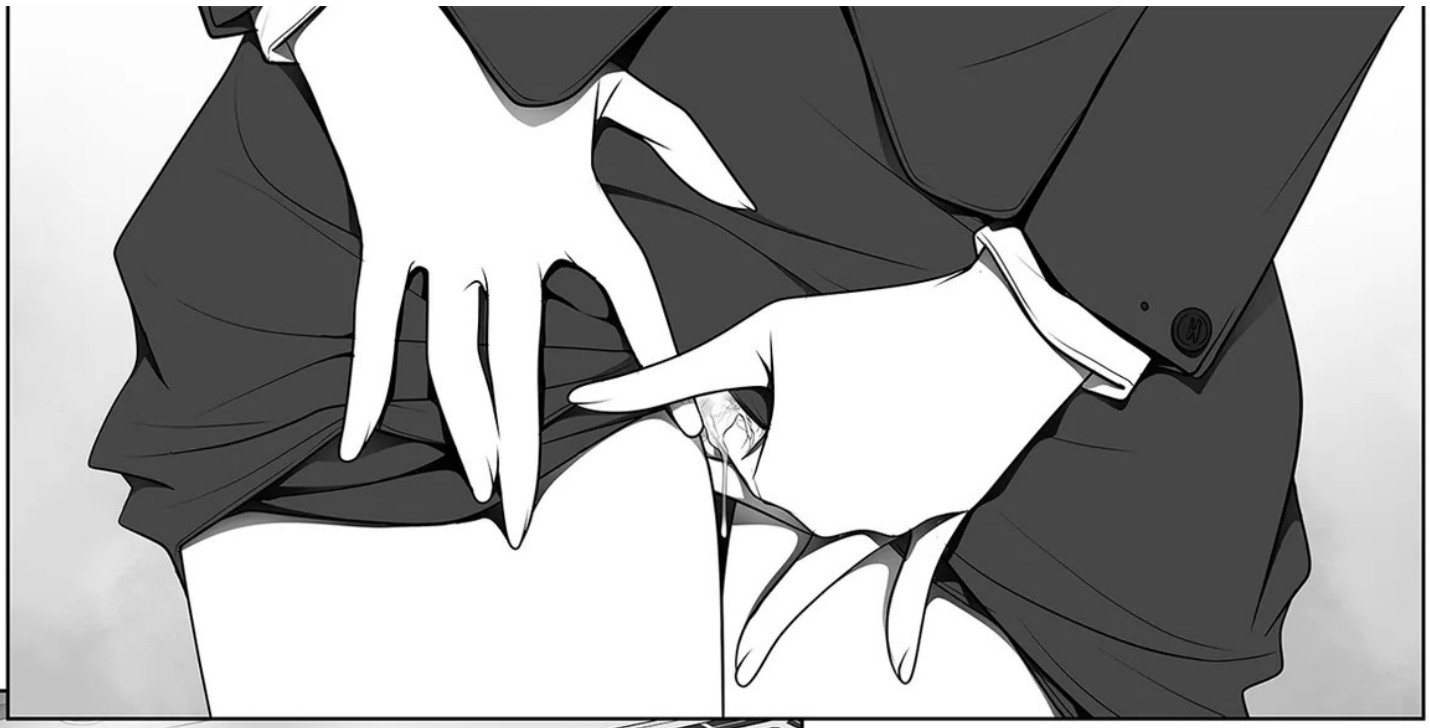

OTEL KOC
since 1985-


OTEL
ER
-since


FRONT

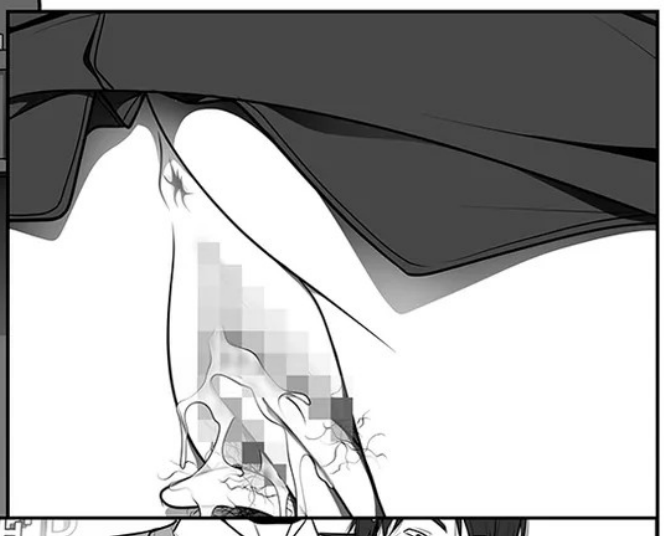

KO
1985-

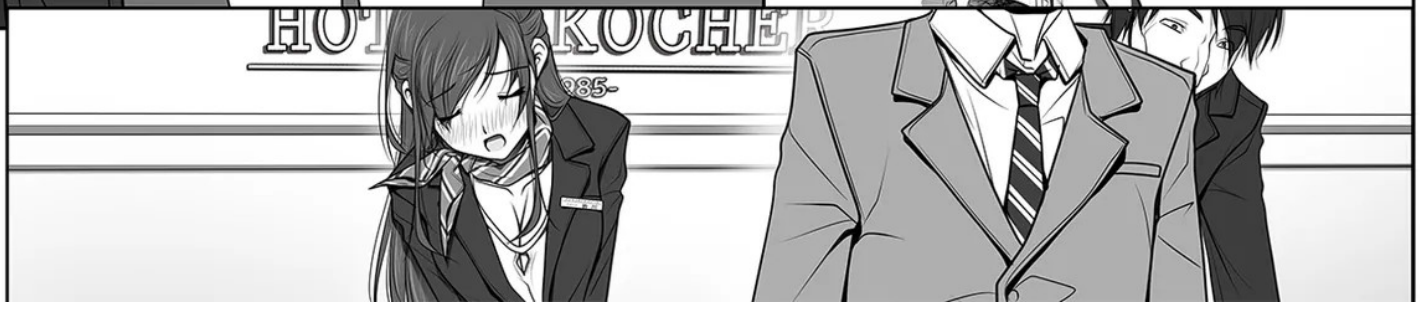

FRONT






ビジネスホテル コッペル
フロント 皆川






Women's Locker Room






さっきすれ違いざまに
鼻から顔色悪そうだった
けど大丈夫か？
痛のチンポは射打ちこんで
治療してやろうか？
大丈夫、心配してくれてありがとう。
好きだよ、直樹♡
今晩また部屋を借り切って
セックスしない？
満足させてやるからさ
今晩また部屋を借り切って
セックスしない？
満足させてやるからさ




HOTEL
CHER
801





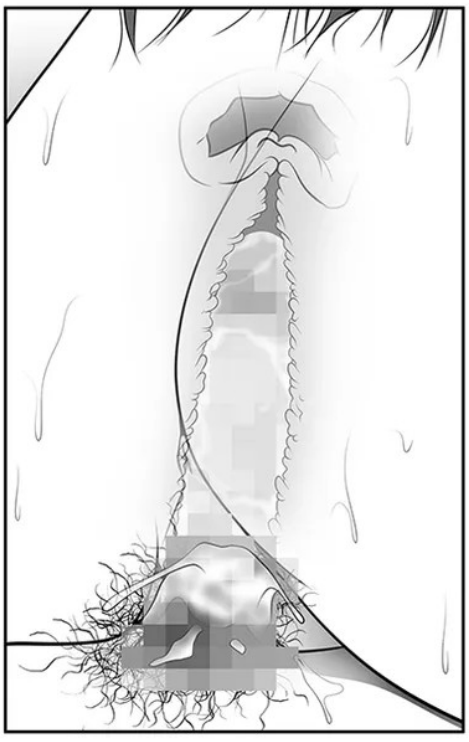



22:36


22:38










22:40







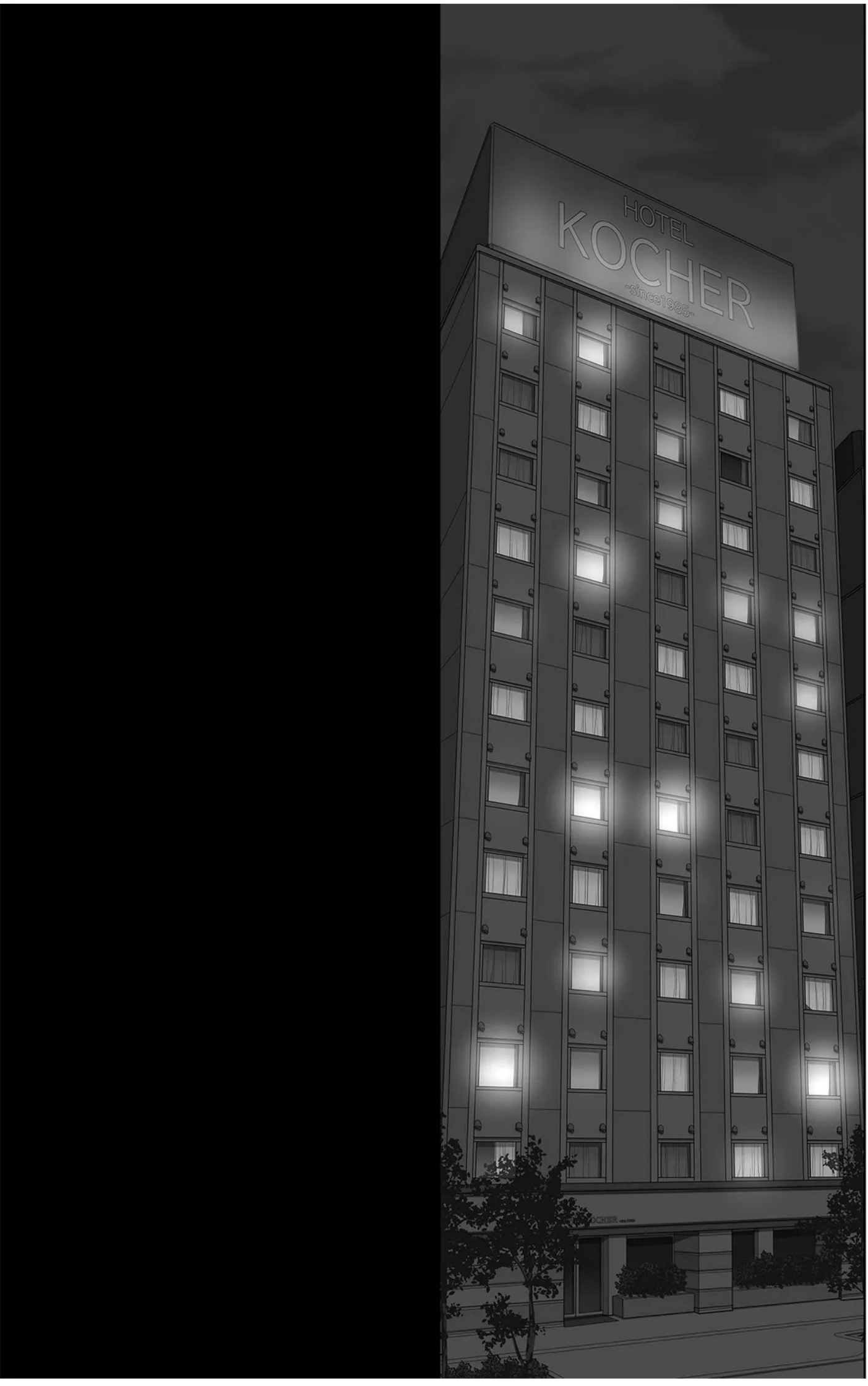



10月2日(金) 行動予定
行先
小林






801


HOTEL
KOCHER
-since1985-